

発売中  
100円

憲法9条を変えて、  
「戦争する自衛隊」にして  
いいのですか(憲法会議・発行)

# 介護保険料の引き下げを提案

日本共産党  
市議団

## 引き下げ予算6千万円は介護保険のため込み金から

党市議団は25日、所得の低い高齢者の介護保険料を引き下げるため、条例改正を提案。ひぐま市議が「引き下げに必要な予算は、介護保険のため込み金2億7千万円を使って」と説明しました。

介護保険料の滞納者は2017年度末で289人。そのうち、所得の低い方の滞納者は101人で滞納者の3割を超えています。

日本共産党市議団は3月議会

の最終日、介護保険料を引き下げる条例改正を提案しました(上の表のとおり)。ひぐま市議が条例改正案を説明。「そもそも国は、消費税率10%への引き上げに合わせ、負担軽減をする予定。所得の低い高齢者の介護保険料を負担軽減することは、いまずぐやるべき」と訴えました。

自民系、公明、社民、立憲民主

の合わせて18名の市議は、所得の低い高齢者の介護保険料引き下げに反対しました。しかも、反対意見も言わない体たらく。市民の暮らし向きを、少しでも良くする姿勢はありません。

来年度の介護保険予算に反対  
党市議団は、①介護保険料が高いこと、②介護認定がより軽く判定されることによって、必要な介護サービスが受けられないケースが生まれていることから、来年度の介護保険予算に反対しました。  
17年度の介護認定では、要介護1から要支援2に判定が落ちた人が16年度に比べて3倍に増えるなど、国の指導が徹底されて介護認定が厳しくなっています。

### 65歳以上の介護保険料の引き下げ案

	生活保護 または所得 80万円以下	所得80万～ 120万円以下	所得 120万円超
現在の 保険料	年間 29,930円	年間 41,900円	年間 49,880円
引き下げ (改正案)	年間 19,950円	年間 33,250円	年間 46,550円

注) ただし、世帯全員が市民税非課税の場合。

# 山下かい知事候補が訴える

県知事選  
4月7日投票

## 国言いなり、大企業優遇から、暮らし福祉を守る県政へ

山下かい知事候補は23日、福祉、暮らし優先の県政への転換を訴えました。ひぐま知重市議、大谷としあき市議、ながの信子党子ども女性部長の3氏も、市民に支持を呼びかけました。

統一地方選前半戦(4月7日投票)でいち早く告示された大分県知事選で、山下かい候補は「住民の福祉と暮らしを守る県政への転換と、安倍政権に審判を」と全力をあげています。

山下知事候補は23日、朝7時半から玉川交差点に立ち、出勤途中の市民に手を振って支持を呼びかけました(上の写真)。選挙は、山下候補と自民・公明・連合の推す現職候補との一騎打ち。国言いなり、大企業優遇から暮らし、福祉を守る県政への転換をかかげる山下候補の訴えに共感が広がっています。

山下候補の「ポイント還元を言

うのなら、初めから消費税を増税しなければいい」の訴えに、路上から「そうだ」のかけ声。「暮らしを最優先する政治への転換と消費税増税ストップ、安倍政治にサヨナラをと最後まで訴えぬ」と力を込めました。

ひぐま市議は、「知事を選ぶ基準は3つ。1つは、国言いなりの知事でもいいのか。2つは、県民の願いを受けとめ、県政を変える知事か。3つは、県民の目線で県政を正す知事か」と話し、山下かい候補への支持を市民に呼びかけました。

大山町では夕方5時を過ぎて寒さが増す中、山下知事候補のまちかど演説に17名の市民が集まりました。



▲県知事選の支持を訴える山下かい候補(右から4人目)。右からひぐま市議、大谷市議、ながの子ども女性部長(玉川交差点)。